

メンタルヘルスマネジメント研修を通して企業の健康経営の推進に貢献

働く人の心の健康が社会問題となり、2015年12月より従業員50人以上の事業所にストレスチェックが義務付けられ、メンタル不調の早期発見と未然防止が求められるようになりました。また従業員のメンタルヘルス対策は、職場環境の改善や企業の生産性向上につながるという点でも、各企業の取り組むべき課題としてクローズアップされています。こうした中でキヤノンマーケティングジャパン（以下キヤノンMJ）は、広範な販売チャネルを活かしながら、さまざまなお客さまに対してメンタルヘルス対策を提供しています。

キヤノンMJのメンタルヘルス対策に関するサービスは、「個人へのケア」と「組織の改善」の双方をフォローすることで、メンタルヘルスマネジメントをお客さまの企業風土へと根付かせます。

また、法制化に対応するストレスチェックの実施から、メンタルヘルスマネジメントの強化まで、幅広いニーズにも対応しています。ストレスチェックについては、従業員のストレス耐性を見える化し、気づきと自発的な改善を促します。メンタルヘルスマネジメントの強化については、「ストレスチェック結果の分析」「問題点の可視化」「改善計画の策定と実施」などの他、ケーススタディやライブセッションを用いた実践的な研修を提供しています。対象としては、経営層、中間管理職、一般社員、シニア層など、あらゆる階層向けの研修メニューを準備し、お客さまの組織へのメンタルヘルスマネジメントの浸透を支援します。

キヤノンMJは今後も、働く人々のメンタルヘルスを支えるサービスを通して、お客さまの健康経営の推進に貢献していきます。



メンタルヘルスマネジメント研修で使用
する教材

お客さまの声：株式会社ジーシーシー 様

当社では、メンタルヘルスチェックが義務化される前から、従業員の「セルフケア」については着手していました。一方で、管理監督者の「ラインによるケア」への取り組みは不十分であったため、業務を管理監督する立場にある者の知識や意識のレベルを高めたいと考え、メンタルマネジメント教育導入の検討をはじめました。

さまざまなツール・手法を比較検討しましたが、「理論を実務に落とし込める内容」が決め手となり、キヤノンMJの「メンタルヘルスマネジメント検定試験 II種対策講座※」の採用を決めました。これまでの3年間で約90名が受講し、全国平均を上回る試験合格率を残しています。講座を受講したことで、単に資格取得者が増えただけでなく、当社の実務の中に着実にプラスの効果をもたらし始めています。従来は、メンタルが不調な部下がいても断片的な知識による曖昧な対応しかできませんでした。研修を通して「この場合はこうすべき」という体系立てられた理論を持つことができたのです。その具体例として、ある管理者は、メンタル不調者の職場復帰支援プランを自主的に作成するという予想を超えた行動を起こしてくれました。また、従業員のメンタルヘルスと向き合う中で、働き方全体を見つめ直すことができ、仕事の効率をあげることができたことも研修の大きな成果といえます。その表れのひとつが、2016年度において平均残業時間の削減と売上目標の達成を両立できたことだと思えます。

従業員が健康に働き、より高い生産性を発揮する職場を実現するためには、メンタルヘルスの他にも多くの課題がありますが、その解決のヒントになるのは、現場で実際に効果を生んだ成功事例に他なりません。キヤノンMJには、幅広いネットワークを生かして、同業他社を含めたさまざまな企業と生きた事例を共有する機会を提供していただくことを期待しています。

※ 「メンタルヘルスマネジメント検定 II種対策講座」はキヤノンMJグループのエディフィストラaining株式会社が提供する研修メニューです。



本社外観



左：総務部 下田 玲子様
右：総務部 水野 文雄様

関連ページ

- 「メンタルヘルスマネジメントのご紹介」のページへ

CSR情報

- キヤノンMJグループのCSR活動ページへ

お問い合わせ

- キヤノンMJグループのCSRに関するお問い合わせはこちら

➤ これまでの取り組み一覧へ

➤ Business with CSR トップへ